

場所	分類
原子炉建屋内 RB	1 時間
タービン建屋内 TB	2 距離
R ZONE R	③ 遮へい
Y ZONE Y	4 線源の除去
G ZONE G	5 遠隔、ロボット化
その他() Z	6 汚染拡大防止
	7 その他

Y 3

被ばく低減対策好事例集

番号	01-14		
内 容	法兰ジタンク解体に伴う、タンク底部のβ線遮へい		
作業部位	法兰ジタンク設置エリア		
概 略	法兰ジタンク17基の解体に伴い、解体時に発生する汚染を封じ込めるための遠隔式塗料塗布装置を製作して、解体時の汚染封じ込めを実施している。		
評 価 （定性・定量）	効 果	対策前	対策後
	線量率(mSv/h)	5.71	0.90
	人工数(人日)	--	--

事例詳細

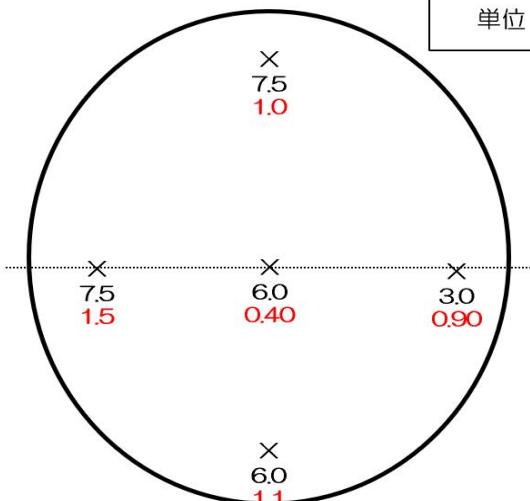
対策前 タンク底部は $\beta + \gamma$ 線が高く、 β 線被ばくが問題になった。

対策内容 タンク底部にゴム板を設置し、側面にはコンパネ+アルミ板を設置し、 β 線を遮へいした。

C10タンク内線量当量率測定結果
(測定場所…側板～50cm 床面～1.2m)
黒字：対策前 赤字：対策後

対策：遮へい材の設置

- タンク底版に遮へいゴムを設置する。
- タンク側板にコンパネ+アルミ板を設置する。



低減効果($\beta + \gamma$ 線 線量当量率平均値)
対策前: 5.71 mSv/h
対策後: 0.90 mSv/h … 84.2%低減